

## 議会報告会実施報告書

開催日時	令和7年7月5日（土曜日） 午前10時から11時30分まで
開催場所	鳥栖市役所3階 第3・第4委員会室
出席議員	班長 和田晴美議員
	司会者 野下泰弘議員
	報告者 総務常任委員会 中村直人委員長 他委員 建設経済常任委員会 藤田昌隆委員長 他委員 文教厚生常任委員会 樋口伸一郎委員長 他委員
	記録者 伊藤克也議員、江副康成議員、野下泰弘議員、 緒方俊之員、牧瀬昭子議員、西依義規議員、 和田晴美議員
	総務常任委員会 中村直人委員長、伊藤克也副委員長、森山林議員、尼寺省悟議員、 江副康成議員、永江ゆき議員、松隈清之議員、池田利幸議員 建設経済常任委員会 藤田昌隆委員長、飛松妙子副委員長、小石弘和議員、 齊藤正治議員、久保山日出男議員、和田晴美議員、野下泰弘議員 文教厚生常任委員会 樋口伸一郎委員長、成富牧男副委員長、中川原豊志議員、 西依義規議員、田村弘子議員、緒方俊之議員、牧瀬昭子議員
参加人数	51名（一般 29人、議員22名）
報告及び意見交換の内容	【議会報告】 総務常任委員会、建設経済常任委員会、文教厚生常任委員会より（30分） 質疑応答 【市民との意見交換】 ワークショップ（40分） 防災対策、環境対策、観光、地域公共交通、子ども子育て支援、スポーツ文化振興
主な意見・提言等	○市政に対するもの 【総務常任委員会】 別紙のとおり 【建設経済常任委員会】 別紙のとおり 【文教厚生常任委員会】 別紙のとおり ○議会に対するもの 別紙のとおり

鳥栖市議会議長様

鳥栖市議会報告会実施要綱第11条第1項の規定により提出します。

議会報告会

班長 和田 晴美

印

## 総務常任委員会

	意見	回答	委員会
1	防災井戸整備について、防災井戸を造ることに異論はないが、一般的には50万円～100万円で可能ではないか。1,000万円かける井戸とはどういうものなのか。内訳は。	ボーリングだけではそこまでかからないと考えられるが、防災井戸ということで手動式での汲み上げを想定しており、通常の井戸とは構造上の違いもあると考えている。予算については、概略で1,000万円になっているが、内訳までは示されていない。	総務
2	防災井戸整備について、どのような施設になるのか？	小学校を想定しているが、どのような井戸になるか、手動式以外の構造上の詳細は示されていない。	総務
3	防災井戸整備について、生活用水の確保とあるが、飲料水の他に水洗トイレなどの衛生面でも利用するのか。これほどの予算をかけるのであれば雨水利用など検討してもいいのでは。	飲料水に関しては3日分ほど備蓄している。トイレであるとか身体を拭くなど衛生面としての生活用水の確保を想定している。	総務
4	ストックヤード整備事業について、ストックヤードは使い勝手が悪いから新たに建設されているのか。	既存の資源物回収広場の機能を移す。より利用しやすい環境とするために整備している。	総務
5	ストックヤード整備事業について、旧ごみ処理施設の解体では、ダイオキシン、アスベスト等が指摘されているにも関わらず、安易な囲いで簡単に解体されている印象があるがどうなのか。	ダイオキシンなどの有害物質のリスクは十分理解しているので、実績のある業者に飛散防止等の対策を取りながら進めてもらっている。	総務
6	プラスチックごみ回収について、月1回の資源物回収ではプラスチックごみに対応しておらず、真木町まで持つて行くのは遠くて時間もかかるしガソリン代もかかる。各地のまちづくりセンターにあるといふと思うがどうか。そこまでできないのであれば、資源物回収時にプラスチックごみの回収をしていただけないか。	環境対策課にはお伝えします。 現状はリサイクルプラザに回収されたプラスチックごみは焼却し、一部はリサイクル施設にトラックで運搬しますが、運搬費用が引き取り価格の10倍ほど負担することとなるため、コストの課題もある。 ペットボトルは地域の資源物回収広場で回収している。	総務
7	防災備蓄事業について、消耗品費139万円は何人分になるのか。 自分の命は自分で守る意識づけが必要ではないか。	備蓄については、市民の5%分を対象としていますが、今回の消耗品についてはこれまで準備できていないものを加えることになります。 自助に対する意識の浸透を図ることは必要だと考えています。	総務
8	鳥栖駅周辺整備について、鳥栖駅西広場、サンメッセ広場をもっと利用しやすい環境整備を進めることができないのか。ベンチ、テーブルやパラソルなどがあると利用しやすくなるのではないか。	両広場共にゆっくり座って何かできるという環境ではない。西広場はベンチに座ることができるが屋根がない。所管が違うので、提案については建設経済に伝えておきます。	総務

9	万一大規模災害が起こった時、災害関連死に対する備えは十分か。		総務
10	避難所における情報伝達について問題提起。聴覚障がい者は身体的には健常者であり、文字を記入した紙を張り出してもらえればコミュニケーションが改善され、避難所生活及び運営が円滑になる。		総務
11	避難所における備蓄品の充足率については。		総務
12	支援が必要な高齢者、老人、外国人の補足体制と町内会の役割の重要性については。		総務
13	避難所における備蓄品について、ソフト面の予算が少ないような気がする。		総務
14	新幹線の鳥栖市としての意見は。アピールが足りない。		総務
15	こども食堂はどういう対象に向けた取組か。	こども食堂は子どもや子育て世帯に限定していないところもあり、対象者を拡げて地域食堂として高齢者や地域の人も参加可能な地域の居場所として鳥栖市内にも10ヶ所ほど出来ていると聞いています。	総務
16	こども食堂に対して鳥栖市はどのような支援をしているのか。また、全国的に子どもは無料なのか。	鳥栖市では、登録団体には施設使用料の減免、市民活動補助金や地域福祉課による貧困対策補助金などの支援があります。しかし、運営費をまかなうための助成金や補助金などは団体自ら取得しているのが実態。多くのこども食堂では子どもは無料で、大人は有料のところが多いと思います。	総務

## 建設経済常任委員会

	意見	回答	委員会
1	公園整備を充実させて、その中に噴水を作り、水遊びができるところが欲しい。		建設経済
2	轟木川の河川改修工事があったが、地元（地元住民）に丁寧な説明を求める。		建設経済
3	宅地化が進み豪雨災害が心配。		建設経済
4	水害対策は十分か、鳥栖南部を例示。		建設経済
5	河川管理の所管が分かりにくい、県か市か。		建設経済
6	とっとちゃんペイのお店側の意見反映はできているのか。		建設経済
7	中央公園の池をもっと活用してほしい。埋め立てや綺麗にしてほしい。		建設経済
8	鳥栖には神社が多いのでそこをPRできないか。		建設経済
9	サガン鳥栖の試合の時などに鳥栖をPRする、回遊する仕組みなどないのか。		建設経済

## 文教厚生常任委員会

	意見	回答	委員会
1	何か一つドンと作ったほうがいいと思う。 (多目的グラウンドなど)		文教厚生
2	N i × スポーツパークを作つてほしい。		文教厚生
3	3オン3など若者が集まる場所		文教厚生
4	全国大会などができる場所		文教厚生
5	市民（温水）プールが安かつたら民間プール利用者が全部流れてしまう可能性がある。		文教厚生
6	資料にある子育て世帯訪問事業のニーズ把握や調査はどのように行つのか。（鳥栖市は100人前後と聞いたことがあるが基山町が80人と言われている。人口比からするともっと多いのでは）		文教厚生
7	子育て世帯訪問支援事業・児童育成支援拠点事業・親子関係形成支援事業は民間委託した方が良いと思う。（拠点事業は既にあつたりする。基山町長は民間委託の委託先も決めている）		文教厚生
8	子どもの医療費の一部自己負担をなくして欲しい。		文教厚生
9	鳥栖市は県の制度を後から追いかけていける感じがする。先駆けて制度をつくつていって欲しい。		文教厚生
10	プールの民間委託をすると夏休みのプールは全部なくなる。		文教厚生
11	貧困とかのスポット以外の層の方の支援がない。		文教厚生
12	鳥栖市の学校環境はありえない。クーラーは効かない（職員室は30度超えていいる）、雨漏りはする、学校の予算が少ない。		文教厚生
13	子育てや子どもにあまり力を入れていないイメージがある。		文教厚生
14	図書館のトイレをきれいにしてほしい。		文教厚生
15	文化会館を新しくしてほしい。		文教厚生
16	勝尾城について、鳥栖市としてどのように計画して進め、整備を進めていかれるのかをお聞きしたい。		文教厚生

17	鳥栖市の子育て支援は昔から行われているのか、新しい取組なのか。	鳥栖市の子育て支援は幅広いので、幼稚園・保育園・学童保育やファミリーサポートなど、長年の取組もあれば近年始まったものもあります。	文教厚生
18	給食がない夏休みに体重が減る子どもがいたり、働く保護者からの要望で夏休みを短くするべきではという意見を聞いたことがあるが、どう思うか。 また、親の都合だけでなく子ども目線で考えるべきではないか。	教育現場で働く1人の教員の意見としては、登下校の熱中症や暑さのため外で遊ぶことができないことで、教室で過ごすことにより、暴れたりしてケガの心配があります。子どもたちは夏休みを楽しみにしています。 親の都合ではなく、子ども自身の視点から休みのあり方を考える必要があるとの意見が共有されました。	文教厚生
19	学校の体育館にエアコンをつけてほしい。	令和6年度予算で空調整備の「調査費」が計上されており、今後整備に向けて検討が進められていく予定です。	文教厚生
20	小学生の自転車利用について、学校で安全教育の時間を設けてほしい。	学校や教育委員会と連携し、継続的な安全指導の導入を検討する必要があるという認識を共有しました。	文教厚生
21	福岡県内の学校で「親の会」が子どもたちに自転車の乗り方講習会を行い、「自転車免許制」を発行しているところもあると聞いた。鳥栖市でも同じような取組を行い、親子で自転車の交通ルールやマナーを教えられないか。	学校・保護者・交通対策協議会等と連携し、校庭などの親子向け安全教室や免許制度の導入も検討してはどうか。年長児とその保護者向けの小学校の入学説明会で交通安全教室を開けるといいのではないかという意見も出ました。	文教厚生
22	鳥栖市のコミュニティ・スクールの状況は? 地域コーディネーターのような役割の人は配置されているのか。	全ての学校でコミュニティ・スクールが導入されています。それぞれの学校で独自性を発揮した活動が行なわれていますが、鳥栖市でもよりコミュニティ・スクールの活発な活動の促進のためにも、他市の視察を通じて今後の導入検討を進めてはどうかという意見が出ました。	文教厚生

## その他

	意見	回答	テーブル	委員会
1	議員との接点・知る機会を増やす取り組みについて、議員個々の考えを知る機会が少ないので、知るチャンスがない。もっと考えを聞く場があるといいのではないか。	議会報告会はまさにそういう場であるが、報告会の回数を増やすことも考えられる。 一般質問等、ネット配信も行っているので傍聴できない方など利用してほしい。		広報広聴
2	若者との対話について、若い人たちとの交流、対話があるといいのでは。	以前、議会報告会に高校生に来ていただきそのような機会を設けた。 また、新庁舎の議場に中学生を招いて思いを語ってもらうなどの取り組みを行った。 定期的ではないがそのような機会を作るよう心掛けている。	環境	広報広聴
3	若者との対話について、学校を訪問して、中高生とざっくばらんに会話する機会など、自ら出向いてコミュニケーションを図るなど会話を広げられてはどうか。	主権者教育の場は必要であると考えている。私たちもいろんな機会を通じて、足を運んでいきたい。	環境	広報広聴
4	議員定数を減らしてもいいのではないか。	減らすことが鳥栖市のためになるとは考えていない。多様な意見を反映し議論を深め、様々な角度から質問、協議することは非常に重要であると考えている。	環境	議会改革
5	筑後川水害対策（久留米市で開催された会議を傍聴された時）に係る協議の場で、鳥栖市長の姿がなく残念。			—